

◎クレメジンカプセル・◎細粒分包・◎速崩錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】球形微粒多孔質炭素 Spherical Carbonaceous Adsorbent 【分類】慢性腎不全用剤

【単位】◎カプセル：200mg/cap, ◎細粒分包：2g/包・◎速崩錠 500mg×4 個/包

【常用量】6g/日

【用法】分3・食間 [他の薬剤と同時投与しない]

【透析患者への投与方法】透析患者には適用されない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量 (1)

【特徴】消化管で分泌されたり腸内で産生される尿毒症毒素を吸着し便とともに排泄する。これにより尿毒症症状の改善や透析導入の遅延をもたらす (腎と透析 32,783,1992)。このメカニズムは生体内尿毒症毒素低下→尿毒症毒素作用の軽減→腎機能、腎組織の維持→生体内尿毒症毒素低下による。腎不全患者ではインドキシル硫酸がアルブミンと結合して蓄積しており、腎不全の進行を促進することが動物実験で確認されている (医学のあゆみ 183: 309-3,1997) が、クレメジンは尿毒素であるインドキシル硫酸の前駆物質であるインドールを腸管内で吸着することにより、蓄積しているインドキシル硫酸の肝での産生を抑制することにより腎毒性作用を軽減する (Niwa T, et al: Am J Nephrol 12: 201-6,1992 および透析会誌 24: 312-6,1991) 慢性腎不全時の食欲不振、口臭、掻痒感等の尿毒症症状も改善。吸着特性は分子量数百～中分子領域 (薬用炭吸着特性は分子量数百～全域をカバーする) のため消化酵素はほとんど吸着されない。

【主な副作用・毒性】便秘、腹部膨満感など

【吸収】吸収されない (1)

【代謝】代謝を受けない (1)

【排泄】血中に吸収されずにそのまま糞便中に排泄される (1)

【相互作用】他剤を併用する場合、本剤は吸着剤であることを考慮し、本剤との同時服用は避けることが望ましい。たとえばジゴキシンの吸収はコレステチポール 10g では低下せず、コレステチポール 8g で 30～40%低下するのに対し、活性炭投与 8g により 96%低下する (Neuvonen PJ, et al: Br J Clin Pharmacol 25: 229-33,1988) ジゴキシンの投与直後に活性炭を投与するとほとんど完全 (98%) に吸収が阻害される。投与 1 時間後に活性炭を投与すると吸収阻害はかなり低下する (Neuvonen PJ, et al: Eur J Clin Pharmacol 13: 213-8,1978)

【主な臨床報告】保存期腎不全期にクレメジンによる治療が行われていた患者は透析導入後の生存率が有意に延長 (Ueda H, et al: Ren Fail 30: 856-60, 2008) CKD 患者 [Scr4.1±1.1mg/dL] に対する 24 か月の追跡試験では、透析導入を有意に抑制した (Ueda H, et al: Ther Apher Dial 11:189-95, 2007)

【備考】芳香環化合物の吸着能は高くアミノ基やカルボキシル基を有する化合物の吸着能は劣る (病院薬学 23: 219,1997)

【更新日】20240703

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。